



学校だより

# 夢中がいっぱい左近山の子

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来（公/開）～

令和6年1月30日

Sakonama  
横浜市立左近山小学校  
2月号

## 「食」の大切さを

副校長 上床 健太

1月24日は、給食記念日でした。本校でも、1月22日（月）～26日（金）までの一週間を給食週間として、給食や食に関する様々な取り組みをしました。

学校給食には、100年以上の長い歴史があり、明治22年（1889年）山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校（お寺）で、弁当を持ってこれない児童のために実施されたのが学校給食の起源とされています。ちなみにその時のメニューは、おにぎり、塩鮭、漬物だったようです。その後、各地に広がっていきしましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める声が高まり、昭和21年6月に米国のLARA（Licensed Agencies for Relief in Asia：アジア救済公認団体）から物資寄贈を受け、同年12月24日に東京の小学校でLARAからの物資の贈呈式が行われ、東京、神奈川、千葉の三都県の学校で学校給食が再開しました。それ以来、12月24日を「学校給食感謝の日」と定めましたが、12月24日が多くの地域で冬休み期間にあたるため、昭和26年（1951年）から給食記念日の1か月後の1月24日から1週間を「給食週間」としました。そのため、現在では、1月24日が給食記念日となっています。（文部科学省HP、全国学校給食連合会HP参照）

本校は、東都給食さんの運営のもと、給食を行っておりますが、多くの人々が携わり、様々な過程を経て、日々の給食が提供されています。栄養士が栄養のバランスを考え、おいしく食べられるメニューの考案、献立作成を行います。そして、日々の給食では、朝7時頃の牛乳、食材などの物資の搬入に始まり、食品の検査（鮮度、品質、品温、賞味・消費期限、異物混入、産地、数量、重量、さらに野菜の一枚一枚を見て、虫などがいないか細かくチェックします。）、洗浄（1種類の野菜の最低3回、異なるシンクで洗浄します。）、下処理、調理、運搬（1年、個別級）、このような過程を経て児童の皆さんのもとに届けられています。

日々の給食でも、安心安全な食を提供するために、想像以上の細かな点検、消毒などの衛生管理、安全管理の徹底が行われ、その上でよりおいしくなるように調味料の使い方や火加減など作業に工夫を凝らしているなど、見えないところでの調理員さんたちの意識と愛情を感じることができます。家庭においても、作り手が愛情をこめて調理し、おいしい料理が食卓に並び、レストランなどの外食においても、お店の徹底した衛生、安全管理、味の追求などによりおいしい食事をする事ができると思います。このように、我々は、日々当たり前のように食事をとっておりますが、そこには、多くの人々の努力と思いが込められていると感じ、感謝の気持ちを忘れないようにしなければならないと改めて思いました。子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向、過度の瘦身願望など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日です。そのような環境の中、「食」に対する多くの知識を身に付け、考え、自身の成長（生長）、幸福につなげていくことは非常に大切なことです。また、「食」は、生きていく上での楽しみでもあります。学校は日々の給食において、多くの友達と共にその楽しみを味わう機会があります。これからも、子どもたちに「食」の大切さを伝え、「食」について考え、「食」を楽しめるようにしていきます。

2月の生活目標 ⑧ よく考えて取り組みます。

### 【留守番電話設定】

平日17時15分から翌朝7時45分までは留守番電話を設定しています。

### スクールカウンセラー2・3月の来校日

2月13日(火)・27日(火)・3月12日(火)〔今年度最終回〕

相談を希望される方は、養護教諭(石綿)または各担任までご連絡ください。

